

科目名	救急・中毒学			ナンバリング	CL1182	授業形態	講義
対象学年	4 年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	1 単位
代表教員	福地祐司	担当教員	○福地祐司				

授業の概要	救急医療・中毒医療において専門性を活かした薬剤師業務を行うことができるようになるために、日本における救急医療・災害医療の体制や救急の初期治療の概要を学ぶ。また薬毒物による急性中毒について、起因物質の毒性・体内動態、中毒症状、治療法、処置上の留意点を学修する。						
到達目標	1 我が国の救急医療について説明できる。 2 救急医療におけるチームの中で薬剤師が果たす役割について説明できる。 3 急性中毒を起こす薬物・毒物について、その毒性と治療法について説明できる。 4 災害医療との中で薬剤師が果たす役割について説明できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	講義で使用するスライド資料は、「manaba@IMU」からダウンロードできるので、各自準備して来ること。 代表的な中毒物質の毒性メカニズムについて説明できるようにすること。また、解毒薬・拮抗薬があるものについてはそのメカニズムも説明できるように。						
ディプロマポリシーとの 関連	【薬学部薬学科のディプロマポリシー】						
		1. 薬剤師の社会的義務を認識し、医療の担い手としてふさわしいヒューマンイズムと倫理観を具現できる。					
	○	2. 医療分野における問題点を発見して解決するために、研究マインドと知識を統合・活用する力を有する。					
	○	3. 患者本位の医療を実施するために、チーム医療における円滑なコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 地域の医療および保健に貢献するために、薬剤師としての実践的能力を有する。					
	○	5. 薬剤師として科学と医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学習ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①救急医療、中毒治療に関するキーワードを列挙することができる。 ②中毒において、それぞれの薬毒に対する基本的な治療方法を説明できる。	①救急医療、中毒治療に関するキーワードについて、その意味を説明できる。 ②中毒において、それぞれの薬毒に対する具体的な治療方法を説明できる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○					100%
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							

課題、評価のフィードバック	中間、期末試験の解答用紙は、学生から要請があった場合にいつでも開示する。
---------------	--------------------------------------

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	救急医療概論	救急医療体制ならびに救急医療で扱う疾患や症状について解説する。	SBOs:独自
	第2回	救急医療における薬剤師の役割	救急医療における薬剤師業務について解説する。	SBOs:独自
	第3回	初期治療と救急医薬品	救急の初期治療と治療に必要な救急医薬品について解説する。	SBOs:独自
	第4回	急性中毒治療の原則と治療薬	急性中毒に対する治療の原則と治療薬の種類、適応、使用方法について解説する。	SBOs:独自
	第5回	まとめ① 中間試験1	第1回から第4回までの内容について、理解度の確認試験を行う。	
	第6回	医薬品による急性中毒	頻度の高い医薬品中毒の毒性、中毒症状、鑑別方法、治療法を解説する。	SBOs:独自
	第7回	農薬による急性中毒	代表的な農薬中毒の毒性、中毒症状、鑑別方法、治療法を解説する。	SBO:D2-(1)-①-1,3,6
	第8回	家庭用品による急性中毒	家庭用品の誤用による中毒とその事故防止法について解説する。	SBO:D2-(1)-①-1,3,6
	第9回	まとめ② 中間試験2	第6回から第8回までの内容について、理解度の確認試験を行う。	
	第10回	化学用品・工業用品による急性中毒①	化学用品・工業用品による代表的な中毒と事故防止法について解説する。	SBO:D2-(1)-①-1,3,6
	第11回	化学用品・工業用品による急性中毒②	化学用品・工業用品による代表的な中毒と事故防止法について解説する。	SBO:D2-(1)-①-1,3,6
	第12回	自然毒・食品による急性中毒	毒蛇による咬傷や有毒動植物による食中毒について、中毒の毒性、中毒症状、治療法を解説する。	SBOs:独自
	第13回	災害医療と薬剤師の役割	日本における災害時の医療体制と薬剤師の業務について解説する。	SBO:F-(5)-④-1
	第14回	期末試験	第10回から第13回までの内容について、理解度の確認試験を行う。	
	第15回			
	試験	中間試験①、中間試験②、期末試験を実施する。		
授業の進め方		スライドを使用し、講義する。		
授業外学習の指示		資料を中心に講義の内容を復習する。講義した項目に関連する分野(薬理や衛生など)の科目についても復習することを推奨する。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)		

教科書	教科書を使用しない。
参考書	急性中毒ハンドファイル 森 博美、山口 均編集、医学書院、3,800円(税別)、ISBN 978-4-260-01426-7
参考URLなど	
その他	薬剤師として求められる基本的資質(⑤ 基礎的な科学力): 生体及び環境に対する医薬品・化学物質等の影響を理解するために必要な科学に関する基本的知識・技能・態度を有する。 アドバンスト:00% 準備教育:00% 大学独自:35%